

登録締切：6月23日(木)

参加申し込みはWEB

またはQRコードから



WKCフォーラム 2022

保健医療制度の根幹を支える
医療従事者の役割を再考する



限られた資源の中でプレッシャーとストレスにさらされながら働き続けている医療従事者に焦点をあて、2020年以降続く新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミック対応のベストプラクティスやケーススタディを共有するためのオンラインフォーラムです。

日 時：2022年6月25日(土) 13:00~15:00

会 場：オンライン (ZOOM)

参加費：無料

主 催：WHO 神戸センター

共催：WHO 神戸センター協力委員会

協力：国立国際医療研究センター、聖路加国際大学、兵庫県立大学、ほか

WKC FORUM 保健医療制度の根幹を支える医療従事者の役割を再考する

プログラム (暫定) 2022年6月25日(土)

(2022年5月13日現在)

- 13:00-13:10** 開会の辞 (ビデオメッセージ、日本語字幕付き)
WHO神戸センター 所長 サラ・ルイーザ・バーバー
- 13:10-13:30** 開会に寄せて 課題提起 (ビデオメッセージ、日本語字幕付き)
WHO本部 Chief Nursing Officer エリザベス・イロ (予定)
国際看護協会 Chief Nurse ミシェル・エイコーン
- 13:30-13:50** 基調講演
「看護と助産のグローバル戦略の方向性 (Global Strategic Direction for Nursing and Midwifery) —COVID-19 対応も含めた世界の看護・助産の潮流—」
国立国際医療研究センター 国際医療協力局 駒形朋子
- 13:50-14:50** パネルディスカッション
このセッションでは、様々な環境下でのベストプラクティスや、医療従事者が直面する課題を紹介します。
- パネリスト:
神戸大学医学部附属病院 副看護部長 ウイリアムソン彰子
聖路加国際大学 看護学研究科国際看護学 教授、聖路加国際大学 WHO プライマリヘルスケア看護開発協力センター 代表 大田えりか
ハワイ大学 疫学専門家 岡田悠偉人
日本医療政策機構 マネージャー 栗田駿一郎
沖縄県立中部病院 感染症内科 高山義浩
兵庫県 保健医療部長 山下輝夫
- 座長:
国立国際医療研究センター 国際医療協力局人材開発部 広報情報課長 田村豊光
兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授、災害健康危機管理 WHO 協力センターセンター長 増野園恵
- 14:50-15:00** 指定発言
日本看護協会 常任理事 木澤晃代
厚生労働省医政局 看護課長 習田由美子
- 15:00** 閉会の辞
WHO神戸センター 医官 茅野龍馬



[お問い合わせ]

WKC Forum 2022 事務局

株式会社アイ・エス・エス内

Email: wkcforum2022_June-reg@issjp.com

参加登録締切: 6月23日(木) 17:00

参加申し込みはこちら:

<https://ez-entry.jp/wkcforum2022-June/entry/>

または QR コードから事前にご登録ください。

